

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

志希とP
II





◆ 前回のあらすじ

ある日、Pを自分の部屋に呼び出した志希。

訪れたPに、少し待っていてと「志希ちゃん特製ハーブティー(合法)」をふるまう。それを飲むと程なくして眠ってしまうP。以前よりPの放つ「匂い」に

何故惹かれてしまうのか気になっていた志希は、それを調べるため眠るPの服を手に入れようとする。が、今ならPが無防備だと気付きより強烈な匂いを求め、肌を密着させ直節Pの匂いを堪能することにする。

匂いにあてられたのか次第に興奮し、志希の行為はエスカレートしていく。

Pが目を覚ましそうになったところで行為は中断したが、その夜、Pの残り香に興奮冷めやらず、自慰に耽ってしまう志希。そして匂い以上に自分を高揚させる感覚が唇にあることに気付いてしまう。

一方その頃、Pも身体から香る志希の匂いに反応してしまっていた…。

後日どこか様子のおかしいPを尻目に、再びPを襲おうと画策していた志希だったが、逆にPに抱き着かれてしまう。すぐ我に返り謝罪を述べるPだったが、自分がPに求められたという感覚に胸を高鳴らせ、志希はPに身体を強引に差し出す。

Pは葛藤しながらも遂には欲求を抑えられず、二人はアイドルとプロデューサーの関係を完全に超えた行為に至ってしまう…。その最中に志希は単なる好奇心では説明のつかないPへの感情と対峙したのであった。

そしていよいよ抑えの利かなくなったことを自覚したPは――

好きなどこ
嗅いで…

何でこんな
キミの匂いに
惹かれちゃうの
か…たっぷり
調べちゃうね

「いうことで
交換換」

何度も
頼んだのに

おとなしく
提供しない
からだよ

これでも
志希ちゃんかな
ガマンしたん
だからね！

ドコがいい？

キ
フ
じ
や
な
い
こ
こ
言
っ
ち
や
い
そ
こ
た
し

あたしにとって
トクベツ…？

それとも…
キミが

なんかこの
ままだと…

ミニマリス

どうぞ

失礼します

がちゃ...

美城専務

…どういった
御用件でしょう

部下からこんな
物を預かって
しまつてね…

ふう…

おやおや
勤務中に
お昼寝？

ワルイコ
はっけーん♪

ま…その方が
助かるかな





キミは何で

あたしに触れたの？

また触れたい
って思う？

とりあえず
あたしは…



無駄に考えて
お腹ペコペコ
だからさ…

食べに
きちやった…♪

ス…

ん？

カサ…



メズラシイ居眠り
の原因はコレ…？

退職願

先に答え…

見つけちゃ
ったか…

ゴメンね



一ノ瀬…さん

はい…

失礼します

…



志希ちゃんまた
失踪癖がひどく
なってきたって

トレーナーさんが
怒ってました



千川さん…

おはようございます
プロデューサー

コーヒー
淹れましょうか？



飼い主はなに
やってるんだー
とも…フフツ

…



だいぶ曇って
きましたね

予報では
午後から雨
でしたから…

…



…千川さん

少し…
出てきます…っ

ガクン…



...



ただいま...



淋しい...



今日も...

きつと
帰ってこない
よね...

こっち
アメリカ来たら
また昔みたい
なんて...思っ
たけど...



ママ...
何してるかな...

日本は今...
流星に寝てるか...
心配させても
メンドクサイし...



カタい...

まあ...昨日の
残りだし...



淋しい...

淋しい...

TOMATO
KETCHUP

TBASCO



淋しい...

淋しい...

ははっ...

カラ〜い...♪
はははっ...

はあ...

はあ...

プッ...

カラあ...

はあ...

何思い出し
てんだろ...

センチメンタル
なんて...

志希ちゃん
ホントにオトメ
みたい...

ホッ...



自然も
演出…？

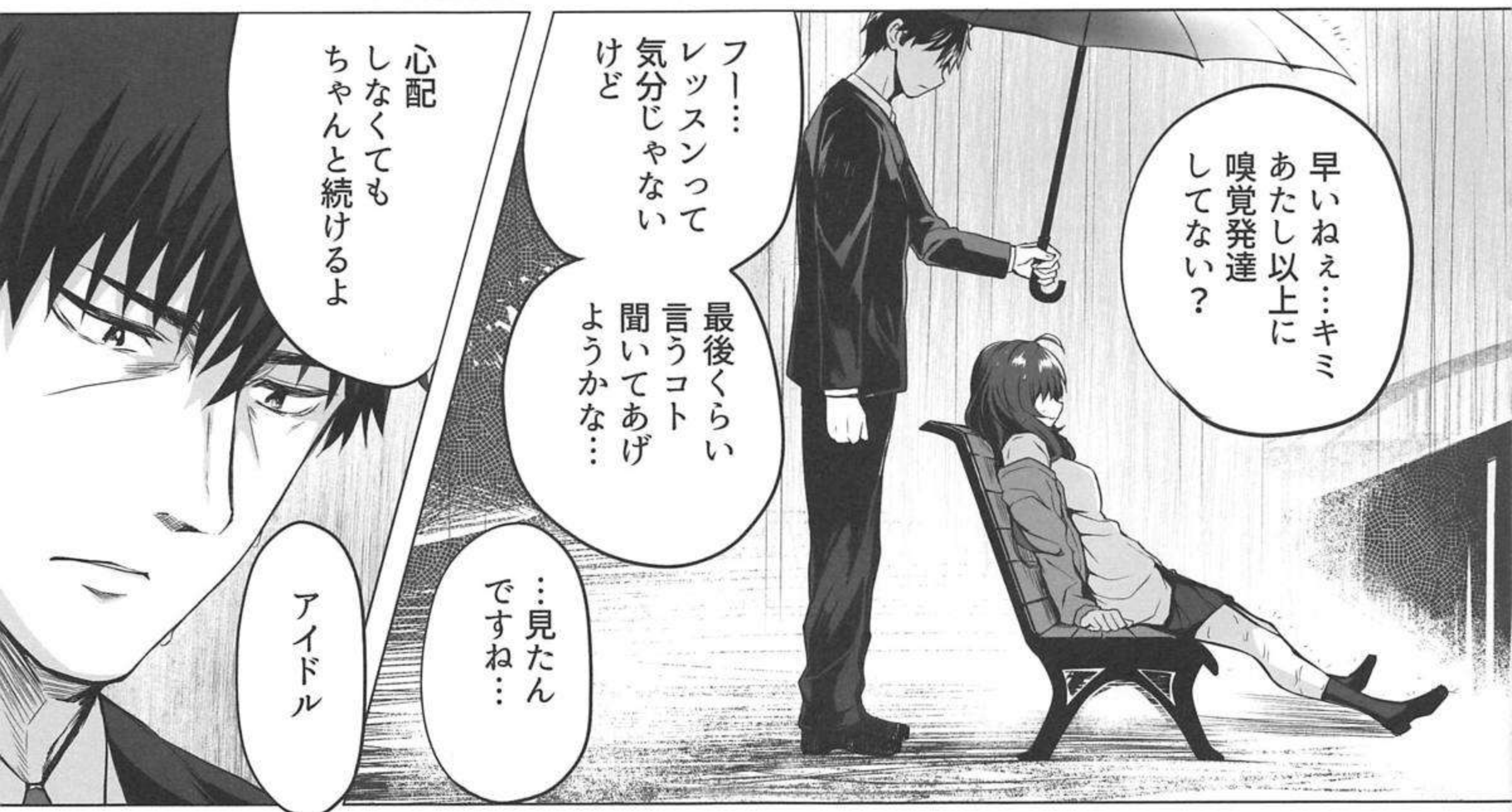
志希ちゃん
もってるー！

アイドルの
資質は十分♪

アイドルか…

…

一ノ瀬さん…



早いねえ…キミ
あたし以上に
嗅覚発達
してない？

フー…
レッスンって
気分じゃない
けど

最後まで
言うコト
聞いてあげ
ようかな…

心配
しなくても
ちゃんと続けるよ

…見たん
ですね…

アイドル



一応楽しくは
なってきたしね

でも
キミの代わりが
つまんなかったら

分かんない
ケド♪

キミの代わりか…

いい匂いは

期待でき
ないかな

あー雨で
グシヨグシヨ

やっぱり今日は
帰るね
寒くなってきたし

すみません…っ
不安にさせて
しまいっ…

…っ

何…？

キミが暖めて
くれちゃうの？

…私で
良ければ…

後悔したばっか
でしょ…？

そう…
ですね…

あなたにそんな
顔をさせてしまっ
たことが…

雨宿り…
連れてって…

ホントに
来ちゃった…

キミの部屋

いいのかな？
あたしの側に
居るってことは

こういうのに
また悩まされ
ちゃうよ？

志希ちゃん
ガマンできない
コだからね

…大丈夫です
もう…
それに…

私からも…
してしまうかも
しれません…

むっ…

キミ…なんか
進化しちゃった？
まあ…いいや…

あつたかい…
いい匂い…

もう知らないよ…

チャンス
逃したからね…

また消えちやい
そうって思ったら

標本に
しちゃうから



キス…

ホントはあたしも
すっごいしたい
けど…

ちよつと実験
付き合つて♡

は…はあ…



キス…される
と思つた？

っ…

ビク

ビク

キミの…
あたしのお腹
グイグイ押して
くる…

期待されちゃっ
てるね…♡



苦しそう
だから

このコは
出してあげる♡

ドクッ

ドクッ



このままお腹に
かけちゃう？

はっ...

はっ...

先走り
すっごい...

あたしの
お腹もう
ヌルヌル〜

アッ

...

それで終わりに
なんないなら

♡



どどどどど

はっ...

はっ...

...

はっ...

はっ...

はっ...



ぽん...

指がっ...
はあ...

調子戻って
きたのにいっ...

この前は...勢い
みたいになって
しまったので...

今度はちゃんと
私の...意思で...



ぽん...

ぽん...

すごいっ...
めちやくちや
ピンカンっ...

あたしの
身体っ...
想像以上に
ヤバいことに
なってるかもっ...

うぐっ...

んっ...
負けにやいっ...

なんもしなく
ても濡れて
きちやうのに...

唯でさえこんな
キミの匂いに
溺れちやいそう
なトコで...

アッ
アッ



キミの…ビクビク
お腹の中まで
響いてくる…っ

ぐっ…
うっ…

出ちやいそろう…っ
いいよ…ほらっ…
ほらっ…

一ノ瀬さん…

出っ…

んんん…

あ♡

わ♡

出た出たっ…♡

あっつい…♡



はあ…コレ…
この匂いっ…

は…
うう…一気に
頭もってかれちゃうっ…

キミの…

いれたい…

いれたい…っ
けど…

ニョロ

まだ…っ

ぎん

このまま
キミので…

あたしのココ
いっぱい擦ってっ…

は…
は…
は…

ヌッ

ヌッ

あ…
そう…
ソレっ…
んっ…

あ…

気持ちいいけど…
こんなくっつい
てるのにつ…

一番欲しい
ところが繋がってない
このカンジ…っ

ズム

ズム

ズム

あ…

あ…
じれる…っ
もどかしい…っ

ナカに…早く
思いつきり
ねじ込まれたい…っ

ヌッ

ヌッ

ズム



一週間キミで
頭いっぱい
で…

もう限界とつくに
なんだけど…

どんどん感度
上がってる…

だから…あと
あとちよつと
ガマンしたら…

あたし…どうなっ
ちやうのカナ…って…



はあ…キスも
したい…キミの
唇…舌…

今すぐ食べちゃ
いたいっ…

ちよつと…
くらいっ…

だって…キミと
初めて本気セックス
しちやうから…

ハっ…
あぶないっ…



でも…

これくらい
なら…っ

すっぴんのだして…
思いつきり焼き付け
たい…

なんて
ね…♪

もう今日の
志希ちゃん
オトメすぎ

あ

ナカがっ…
キユンキユン…
ムズムズ…っ

でもこれ
だけでも…
やば…

あ

あ

Br…
Br…

キミの
おちんちんっ…

あたしの
クリトリスっ…
ぐりぐりってえ…

こす…れるっ…
たび…っ

ズッ
ズッ
ズッ

んんん

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

あつ...と...
ちよつと...っ

ん...ん...ん...
イツちやう...
とこだった...



奥っ...
あつ...
キミも早く
きたいよね...
だつてまだこんな
ガチガチ...っ



キミの
おちんちんっ...

ああ...
精液はやくっ...
はやくっ...

ナカにつ...
オクにいっ...

モゾ

モゾ

あ...
あ...

ハ...
れ...

もう...
このままっ...

...

やっぱ…いれちゃ
おうかなっ…もう
感度も十分…っ

キミの欲しいって…
奥からヨダレ
どんどん出て
くるっ…

だから…
もうっ…

キミと初めて
本気セックスしちゃう
から…

思いつきの
焼き付けたい…

っ…
すみません…っ

でも…
もう少し…

ちゃんと
納得できる
ところまで…

私は何度でも
付き合いますので…

ん…ぐっ…



はっ...
うっ...
ぐちゃぐちゃ

キミの...
こと...
...

あと一回
イかせたらっ...

指じゃっ...
届かないトコっ...

ID...
せつくしゅっ...
しゅるっ...

れっはい...

はっ
しゅるっ...



萎えちゃっ
たって...

何飲ませてでも
勃たせるからっ...

はっはいっ...

早...
出...
...

はっ

うっ...

ぐっ...
はっあ...

出...
...

ぐちゃぐちゃ

はっ

出...
...

はっ



はっ...
あっ...

ゴキョウ
ゴキョウ

はっ...
ゴキョウ

ゴキョウ



早くっ...

???

一ノ瀬さんっ...
大丈夫
ですかっ...



ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



はやくっ...

はやくっ...

はやくっ...

はやくっ...

はやくっ...

ちよーだいつ...

ちよーだいつ...

キミのおちんちん
ココにつ...!!



ガッパッ

ぐちゃ

はやくっ...

はやくっ...

はやくっ...

はやくっ...

はやくっ...

はやくっ...

はやくっ...



はっ...

はっ...

ふん...

コレっ...
イっ...た...?

ふん...
こんな...
知らなっ...

ふん...

あれ...キミの...
出て...? ああ...
頭...真っ白...



最高に...
敏感だから...

ね...今...
あたし...

すごいっ...
すごいっ...
おちんちんっ...
すごいっ...

早く...
めちやくちやに
突いてっ...

ああ
突かれるっ...
たびっ...イっちや
ってるみたいっ...

あ

あ

はっ...

あ

はっ...

ああ

はっ...



完全におかしくなっちゃってるっ...

化学式とかっ...

論文...とかっ...

何個か忘れちゃってそうっ...

でもっ...

あ

たっ



...

ちゅ...

ん...



ズン

アタマもカラダも完全に覚えちゃった...♡

ん...

ん...



その分...キミはあたしのトクベツだって...

ん...

ちゅ...

ん...



ズンズンっ...

きもちっ...

ああ

ああ

奥っ...
深〜トロっ...

あ

ベタ

ベタ

ベタ



あ
あ



はげしいのっ...
もっとな...

もっとなしてっ...
子宮口につ...
いっぱいキスっ...

グッ

グッ

こっちにも...
キス...

欲しいっ...

グッ

ベタ

あ

あ

あ

グッ



全部っ…
繋がってるっ…

キミとっ…

はあ…またっ…
スゴいのキちゃい
そっ…

うっ…ぐ…

志希ちゃん…っ

もうあの味…
憶えちゃった
からっ…



膣内出し意外…っ

もうっ…
禁止っ…♡

あぁ

あぁ

あぁ



ズンズン

ズン

...ズンズン...

...ズンズン...

...ズンズン...

ズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

カラダの中から
キミの匂いで
いっぱいにしてえっ...

ズンズン

ズンズン



びしょ

びしょ
びしょ

びしょ

びしょ

びしょ
びしょ



あーあー

んあーあー



ふあ…

まだなんか
フワフワした
感じ…

欲張り
過ぎちゃった？

動きたく
ないから今日
泊まるねー

はい…

おー
サラッと♪



聞かせて
もらおうか

…っ

はい…



キミの進化の
工程 聞いとこ
うカナ

…あまり
格好のいいもの
ではないの
ですが…



そして判断した
結果が今の君の
立場だ

任せているプロジェクト
担当アイドルの数…
決して軽いものではないと
思うが…

特定のアイドルとの
交際…か…



そんなものは
こちらで判断する

私はこの職務
を続けるに
相応しくないと
判断し…

多感な時期の娘も
多い：珍しい
話ではない

それをプロ意識が
足りないと片づける
のは簡単だな

は…？

しかしそれを
養分に開花する
才能も：君は
どう思う？

真面目だけが美德で
はない 上手く
立ち回りなさい

成果が見られな
ければ改めて
受け取ろう

以上だ
業務に戻りな
さい

退職願

—っ…

ほー

意外とブツとん
だコトいうねー
あたし達は
モルモット♪

それに乗っちゃう
キミももう
だいぶ手遅れだね

…そう…ですね…
我ながらどうか
していると思
います…

あー楽しくなって
きたらお腹
空いてきたー

買い置きがない
ので後でそれ
だけ買いに…

…タバスコ

では…
デリバリーで
いいですか？

わーい
ピザー♪

はい…

さっすが
分かってるー

でも…
うん！

たまには無し
でもいいかな♪

END

あとがき

お読みいただきありがとうございます。
さいもんと申します。

今回はじめてテレマス本で続き物を描いてみましたが
思いつきで続きにしちゃお！って感じだったので
なかなかバランス悪い感は否めないですね…

気付けば私の人生の中で過去最高のページ数です。
詰め込みましたわあ…ははは

メ切のフックギリ度も過去最高ですわあ…^^^

すこしでもお楽しみいただけましたら幸いです。

次は気楽なエロマンガ描こうかな。

それではお付き合い、誠にありがとうございました。

さいもん

奥付

- ・発行日 2018/12/31
- ・サークル NS craft
- ・発行者 さいもん
- ・印刷 太陽出版 様
- ・mail simon.ns@hotmail.co.jp

NScraft 2018

~winter~